

信濃美術館整備事業の設計者について

平成 29 年（2017 年）6 月 21 日

建設部 施設課

1 選考方式

○ プロポーザル方式（技術提案方式）

- ・美術館の設計には、卓越した審美眼と高度な設計能力が必要
- ・建設地とその周辺の環境や風土を踏まえ、美術館及び公園の設計、周辺整備計画などをする高度で専門的な能力が必要
⇒このため、幅広く多くの者を募り、実績と能力を高度な見識で評価して、最適な設計者を選ぶ仕組みが必要

2 プロポーザル審査委員会（別紙）

委員 7 名 <美術、建築、造園> + オブザーバー 3 名

3 審査経過等

募集（プロポーザル公告）		2月23日～3月24日
一次審査（設計方針、実績等）	※応募 33 者から 11 者を選考	4月 3日
二次審査（設計提案等）	※11 者から 4 者を選考	5月 22日
現地審査（視察、管理者の意見聴取）	※4 者の代表作品を審査	5月 27～30日
最終審査（公開プレゼン等）	※4 者から最適候補者を選考	6月 5日
設計者決定（最適候補者と契約）		7月 初旬

4 審査結果

○最適候補者（設計者）

株式会社 プランツアソシエイツ（東京都）

○評価された点（審査委員会の講評の抜粋）

- ・代表作品にみられる完成度や機能性の高さにみられる実績
- ・提案において、敷地を取巻く条件が緻密に考察されていること
- ・今後の協議に係る柔軟な対応を含め、卓越した建築家としての技量

(別紙)

信濃美術館整備事業設計プロポーザル審査委員

分野	氏名	所属・役職	委員長 (○)
美術	たけうち じゅんいち 竹内 順一	東京藝術大学 名誉教授	○
	まつもと とおる 松本 透	長野県 県民文化部 参与	
建築	きし わろう 岸 和郎	京都造形芸術大学大学院 教授	
	せき くにのり 関 邦則	関建築+まち研究室 代表	
	たにくち よしお 谷口 吉生	谷口建築設計研究所 所長	
	ふるや のぶあき 古谷 誠章	早稲田大学 教授	
造園	みやぎ しゅんさく 宮城 俊作	奈良女子大学 名誉教授 放送大学 教授	

(分野別五十音順、敬称略)

オブザーバー

かみひら としひさ 上平 敏久	長野市 都市整備部長
わかおみ そつりょう 若麻積 宗亮	善光寺 営繕部長
はしもと みつあき 橋本 光明	信濃美術館 館長